## 平成三十一年度 入学考査問題 国語 (専願)

加茂暁星高等学校

注意 これは問題用紙です。解答用紙は別にあります。解答は必ず解答用紙に書きなさい。 終了時間がきたら、 解答用紙を裏返しにして室外へ出なさい。

[問題一] 次の文章を読んで、 後の問いに答えなさい。

著作権の関係で問題文は掲載できません

(永江 朗『インタビュー術!』より)

~a~eの漢字は読みに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二、 問七、 問六、 問五、 問四、 問三、 ア 一番大切な部分 ②「それ」の指すものを、本文中から十字程度で抜き出しなさい。(句読点などを含む) ④「アドリブ、即興演奏のパート」は比喩表現である。具体的には何をさすか。本文中から漢字二字で抜き出しなさい。 ③「醍醐味」の意味を次から選び、記号で答えなさい。 \_\_にあてはまる漢字二字の熟語を、本文中から抜き出しなさい。 にあてはまるひらがな二字を答えなさい。 「「なに」と「なぜ」のまわりを回っている」とは、具体的にどのようなことか。本文中の語句を使って、 危険な部分 ウ 本当の不思議さ 工 本当の面白さ 説明しなさい。

問八、 問九、 ⑤「ここで問われる」のはなぜか。解答欄にあてはまる形で、本文中から三○字~四○字で抜き出しなさい。 ⑥「こいつ」とは、誰のことか。次から選び、記号で答えなさい。

話し手

書き手

ウ 聞き手

問十、 -①「連歌に近いかもしれない」とは、どのような状況を表したものか。次から選び、記号で答えなさい。

お互いの言葉を受け止めて話をつなげていく状況

お互いの言葉に刺激されて考えを深めていく状況

お互いの言葉を聞きながら自分の話を進めていく状況 エ お互いの言葉に重ねるように言葉を発していく状況

問十一、次の一文は、本文のどこにあてはまるか。〈I〉~〈IV〉から選び、記号で答えなさい

話し手の言葉にその場で反応しなければならない。

## 著作権の関係で問題文は掲載できません

(星 新一『宿命』より)

問五、一一	ア名	「さ	問四、一	ア言	問 三、 — C	問 一、 A	いう「五行」の精神が流れているのであろう。	時代の流	や、日本人	ど聞いたことがあるだろう。四季ではなく五季だという見方もある。	③ さて、	とができない地域はたくさんある。②常夏の	日本は季	[問題三]	問七、——	ウあ	ア気	問六、——	問五、——	問四、—	問三、——	アも		問一、
_ _ _ _ _ _ _ _	名詞	「さて、この日	一③の文章	言い過ぎだ	一①の意味	B	この精神が	れで消えて	日本人だけではない。	とがあるだ	この四季の	い地域はた	・節の移り恋	次の文章な	- 5 [-	れこれと	を緩めない	<b>一</b> ④「気を	<b>一</b> ③「その	<b>一</b> ② 「みな	_① 「それ	し	A S	~~~ a \ e Ф
⑤の表現法を次から選び、	イ 動詞	四季の②変な	③の文章の@~©の品詞を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。	イ	<ul><li>□□の意味を次から選び、記号で答えなさい。</li><li>□□の意味を次から選び、記号で答えなさい。</li></ul>		が流れている	時代の流れで消えていったものもあれば、⑤時のふるいにかかってもなお受け継が	47	にろう。四季	この四季の変わり目にもう一つの季節があることを知って	たくさんある	日本は季節の移り変わりがはっきりしている。	〔問題三〕次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。	「もともと、そう	あれこれと心配して悩ませて	気を緩めないよう注意させて	「気をもませて」の意味として最も適当なものを、次から選び、	「その星」とはどの星か。	「みな」とは誰のことか。	「それ」とは何のことか。	イ ひときわ	D に当	eの漢字は読みに、
<b>仏から選び</b>	ウ	かり目にも	の品詞を次	言い過ぎではない	選び、記号り選び、記	に入る適語を次から選び、記号で答えなさい。	るのであろ	のもあれば		子ではなく	にもう一つ	a。②常夏	つきりして	後の問いに	そういうものなのだから」	ませて	させて	の意味と				り		
	形容詞	り 一つの季	から選び、	ではない	記号で答えなさい。	選び、記号	Ĵ.	、 ⑤ 時 の ふ	の絶句やはが四文字よ	五季だとい	の季節があ	ハワ		答えなさい	なのだから	工	イ	して最も適	平文中から	本文中の言:	4文中から	ひたすら	葉を次から	カタカナは漢字に直しなさい。
それぞれ記号で答えなさい。	エ	節が心ある	それぞれ記	ウ	いさい	っで答えなさ		るいにかか	<b>伴詩にも五</b> りも五文字	う見方もな	ることを知	イもある。極寒の	い日本と言	O	」とあるが、	気をまぎ		当なものを	二字と十四	葉を使って	三字で抜き	工	っ選び、そら	に直しなさ
へなさい。	副詞	この四季の®変わり目にもう一つの季節が®あることを知っている®だろうか。」	記号で答え <sup>か</sup>	間違いだ	ア	さい。ア		かってもな	も④唐詩の絶句や律詩にも五言や七言がある。 日本人が四文字よりも五文字・七文字に親しみを感じているのは、	వ <u>్</u>	べっているが	シベ	美しい日本と言われているのは、		、この作品では	気をまぎらわせて	無防備な状態にさせて	、次から選	本文中から二字と十四字で抜き出しなさい。	本文中の言葉を使って答えなさい。	本文中から三字で抜き出しなさい	やっと	それぞれ記号で答えなさい。	V >
	才品	ている®	なさい。	エ	偶	小説		お受け継ば	ある。		にろうか。	リアもある。			Hではロボ		せて		Hしなさい	•	0		で答えなり	
	助動詞	だろうか。		一 言葉が足り	イ 未	イ和歌		がれる精神もあるのだ。	を感じてい		いるだろうか。「土用」である。		四季があるからといっても		ットをど			記号で答えなさい。	•				さい。	
	力	_		足りない	知	歌		こもあるの	るのは、				からとい		のような			さい。						
	助詞			•	ウ 虚	ウ随筆			A &	]	「土用丑の日」とか「土	j L			ロボットをどのようなものとして描いている									
					工	工		その根底には、	や B を <sub>目</sub>		ことか「		①過言ではない。		描いてい									
					奇	戯曲		С	元れば明ら						か。									
						才俳句		数を重用すると	を見れば明らかである。い		用波」「土用干し」な		四季を感じるこ		説明しなさい。									

問六、一一一④に属する作品を次から選び、記号で答えなさい。 ア 比喩法 イ 擬人法 ウ 対句法 エ

ア

『故郷』魯迅

『春望』杜甫

ウ

『蜜柑』芥川龍之介

エ

『雪国』川端康成

エ倒置法